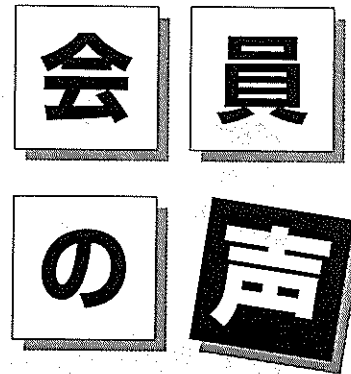


立命館大学建設会

発行所
立命館大学建設会事務局
〒525-8577
滋賀県草津市野路東1-1-1
立命館大学理工学部
環境都市系事務室内
平成 25 年 8 月

第27号



衣笠は遠くに 成りにけり



滋賀建設会副会長
石田良明
昭和五十五年卒

ホント、自宅通学の私にとって、衣笠学舎までは遠かった。まだ、市電が通っていたところで、京都駅から西大路通りの平野神社まで一時間かかったこともあった。そこからまた、教室まで十五分ほどの徒歩。トホホであった。でも、思い出せば私の青春の一部であり、いい友とも多く出会えた。

さて、今年も滋賀建設会の総会・懇親会（今年は七月二十六日・琵琶湖ホテルで開催）の準備時期になり、会員名簿をチェック。私が生まれる前の昭和二十三年卒の大々先輩から今年三月卒業の新会員（加入の意思は問わず）まで総勢約二百四十名。担当の県職員（約五十名）の名簿を作成してビックリ！。なんと、私を含めて、昭和卒は僅かに七名のみ。衣笠卒でも九名のみ。既に大半の会員は衣笠を知らない世代（BKC卒）に変わっていました。後輩と飲みに行くと、私の卒業年次に生まれまじたと聞くとちよっとショック。これもトホホ。

昨年の総会で、昭和四十三年制定以来、四十四年続いてきた、滋賀衣笠会の名を衣笠を知らない世代に一人でも多く参加してもらえないようにと、私的には長年慣れ親しんだ衣笠会の名を残したかったのですが、先輩たちの同意も得て、滋賀建設会に改称しました。

当然、会の名称を改めただけで、多くの会員が総会・懇親会に参加してもらえないとは思いません。会長を始め役員が汗を流して、より多くの会員に参加してもらえよう、日頃からの努力が必要なのは言うまでもありません。

時々、会員から、総会・懇親会に出席して何のメリットがあるのですか？との質問（私にとっては愚問！）を受けます。特に、今時の若い世代から、私が衣笠会に参加し始めた頃は、勤務先の土木事務所長が先輩であったこともあり、行くぞ、と言われたら、はい、と、何も考えず参加したものです。今の若い世代の人には、参加する理由、メリットが必要なのでしょうか？人間関係を構築するのが嫌？煩わしい？これもトホホ。

総会とは何か（失礼）、懇親会とは何か！これが私の経験。日本人だけでしょか？お酒を酌み交わすと人間関係の距離がすごく近くなるのは？特に同じ大学の先輩後輩。既に共通の話題がある訳です。仕事を進める上で、この間はどうか、で話が進めやすい。仕事上の悩み事、アドバイスを受けやすい。職階を超えて気楽に話が出来る。時には先輩に悪態もつける（先輩の皆さんご免なさい）。これってメリットでしょ。何だか大学の話から懇親会の話にシフトしてしまっているようですが（反省）。

会の名称から、衣笠は無くなりましたが、巨人の長嶋ではありませんが、私の青春のページでありまじす。衣笠は永遠です。衣笠でなくても、同じ大学で同じ志で学んだ後輩諸君、会長を始め役員一丸となつて魅力ある滋賀建設会作り心掛けますので、是非一度、建設会の総会・懇親会に参加していただくようお願いいたします。決して損はさせません！参加は、今でしょ！